

【JA東京あおば 経営理念】

わたしたちは、農業の豊かさ、人の和を大切に、地域になくてはならない存在をめざします。

JA東京あおば

管内の農業情報・料理レシピ・家庭菜園などなど・・・

広報誌 || “知って応援” 都市農業

No.108

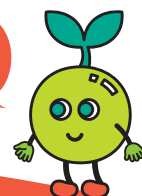
Spring 2024



JA東京あおば HP

あおば

2024年
春号



〈大人気〉
きじまりゅうた

あおばの台所

【特集】

令和6年度 新入職員紹介
准組合員アンケート結果について

01 NEWS

板橋区「新春七草がゆの集い」開催

1月7日(日)、板橋区と区内農業者で組織する板橋ふれあい農園会は、区立城北公園で「新春七草がゆの集い」を開きました。当日は先着1,000人に七草がゆを無料で振る舞いました。七草がゆは農園会の会員らが6つの大釜を使って調理したもので、七草の他に区内産ニンジン、サトイモ、長ネギ、コマツナ



などがたつぷりと入り、約1時間で全てなくなるほど人気でした。会場内には農産物の豊作を祈願して「繭玉かざり」が飾られた他、区内産の農産物、花の販売会場や羽子板など正月遊びが楽しめる会場も設けられ、多くの地域住民で賑わいを見せました。



03 NEWS

練馬区産ニンジン 学校給食へ

1月17日(水)と24日(水)の2日間、練馬区立の全小中学校に一斉学校給食の食材としてニンジン1,700kgを提供しました。

練馬区は毎年6月と11月に区内産キャベツを、12月には地域の伝統野菜である練馬大根を「一斉学校給食の日」として実施しています。ニンジンは昨年続き2回目となります。



02 NEWS

J A東京あおばカレッジ 初の管外視察

1月17日(水)、第一期J A東京あおばカレッジは初の管外視察を行いました。同カレッジは協同組合の基本理念やJ Aへの理解を深め、地域農業やJ Aを担う次世代リーダーの育成を目的に、令和4年10月に開講し、8人が受講しています。



今回は、日本の協同組合の祖と言われる二宮尊徳を紹介する「尊徳記念館(小田原市)」と、約40年前から先駆的に組合員教育に注力し、組合員の意識向上のための取り組みとして協同組合講座を開講している「J Aはだの(秦野市)」の2か所を視察しました。



04 NEWS

青壮年部 手作り看板 日本農業新聞賞 受賞

J A東京あおば青壮年組織協議会は、全国農協青年組織協議会(J A全青協)主催の「令和5年度 J A青年組織手づくり看板全国コンクール」で日本農業新聞賞を受賞しました。



コンクールのテーマは「農業のある地域づくりの大切さに関する地域住民へのアピール」で、全国から集まった57作品のなかから受賞となりました。

05 NEWS

大泉地区女性部 加藤優子さん 最優秀賞受賞 関東甲信越大会出場へ

3月4日(月)「令和5年度 J A女性組織リーダーセミナー(J A女性組織活動体験発表大会)」が開かれ、大泉地区女性部の加藤優子さんが最優秀賞を受賞しました。



加藤さんは「わ」に思いをのせて」と題し、女性部活動について、気持ちのこもった発表を行いました。加藤さんは東京都代表として7月に山梨県で行われる関東甲信越大会に出場されます。



06 NEWS

地元小学校の社会科見学受け入れ

J A東京あおばでは、毎年12月〜2月にかけて、石神井支店を会場に、地元小学校の社会科見学の受け入れを行っています。地域振興部が受け入れを担当し、昨年度は10校717人の児童を受け入れました。総合J Aとして幅広い業務を行っていることを紹介したほか、クイズを

交え、管内農業の特徴を説明。その他、生産者自らが出荷を行うJ A直売所ならではの魅力を伝えるなど、J Aブランドを認知してもらい、子どもたちが食べたい、知っている農産物についても知ってもらおうとかけとなりました。



「誰でも気軽に農に触れ合える収穫体験を通じて、都市の中にも農業があることを知り、農業に関心を持ってもらいたい。農家の皆さんを応援して欲しい」という思いが込められており、各地区青壮年部員の皆さんが手描きで描き上げました。看板は今後、管内で

07 NEWS 練馬地区青壮年部 愛知県視察研修

2月8日(木)・9日(金) 練馬地区青壮年部は、愛知県で視察研修を行いました。部員ら13人が参加しました。新型コロナウイルスの5類移行と部員の「視察研修を再開したい」という意向をきっかけに、視察研修を開催する運びとなりました。

初日は、豊橋市で種苗や農業資材などを取り扱う「トヨタネ株式会社」の研究農場を視察し、主にトマトの施設栽培の先進事例や農業資材の活用方法などについて学びました。

2日目は、名古屋市中川区でミニトマト栽培を営む「飯田農園」を視察しました。2023年11月に練馬区で開催された全国都市農業フェスティバルのトークライブに登壇した、同農園の飯田実氏との交流をきっかけに、今回の視察に至りました。飯田氏はカツオ、コンブ、米ぬ

か主体の有機肥料を使って栽培した高糖度ミニトマト「miuトマト」や、このトマトを使った加工品を販売しています。

同部の水橋宏二部長は「久しぶりの視察研修だったため、部員からの期待度が高く、愛知県の農業の実態を知ることができた有意義な視察になったと思います。また、今後も名古屋市の生産者と交流を継続できるようにしたいです」と話しました。



08 NEWS 練馬区・板橋区へそれぞれ寄付

1月16日(火)、久保秀一組合長が練馬区役所を訪れ、前川耀男区長へ農業振興やより良い地域社会への貢献を目的とした寄付金を贈呈しました。また、同月31日(水)には同じく板橋区役所を訪れ、坂本健区長へ同区で受け付けている「いたばし応援基金」として農業まつり等の観光イベント支援のため

めの寄付金を手渡ししました。当JAでは、農業振興をはじめとした地域貢献活動の一環として、毎年寄付金を贈呈しています。



09 NEWS 「ねりま農サポーター」との交流・意見交換会開催

2月10日(土)、大泉新鮮直売組合と練馬区は、農業者が「ねりま農サポーター」制度を理解し、利用を促進することを目的として、農業者とサポーターとの交流・意見交換会を開きました。同サポーターは、区が運営する「農の学校」で農作業の基本技術を身に付けた援農ボランティアで、平成27年度から事業化されています。

当日は、農業者19人とサポーター20人が参加し、依頼可能な作業内容や条件など、互いの思いや意見を交わしました。田中聖晃組合長は「制度があることは知っていても、利用している農業者は少なく、対話してお互いを理解することで利用しやすくなり、農業への理解に繋がる」と話しました。

制度なので、今後このような機会を重ねていく必要があります」と話しました。



10 NEWS 教育文化活動セミナー開催

3月9日(土)、石神井支店で令和5年度教育文化活動セミナーを開催しました。今回で8回目となり、開催目的は、役員が組合員の活動の理解を深めること。役員や青壮年部員、女性部員ら約290人が参加しました。

第1部では、家の光講師の板野光雄氏が「協同組合の価値とJA教育文化活動の重要性」と題し、講演しました。

第2部では、石神井地区青壮年部の山下武志さんが昨年度、JA東京青壮年組織協議会主催の「2023年度リーダーセミナー」でJA青年の主張発表大会で最優秀賞を受賞した「未来へのバトン」を発表しました。

久保秀一組合長は「今回のセミナーを通じて、役員が協同組合に対する理解を深め、今後の事業活動に活かしてほしい」と話しました。

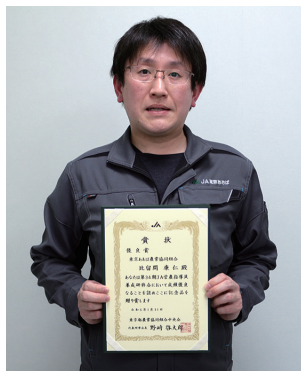


11 NEWS 営農指導員研修優良賞 受賞

第34期JA営農指導員養成研修を受講していた比留間康仁主査役(練馬地区アグリセンター)が、1年間実施された研修の集大成である論文発表大会にて優良賞を受賞しました。

本研修は、都内JAから若手職員が受講するもので、作物の栽培基礎

ら、都市農家の経営まで様々な内容を1年かけて学びます。



日頃の感謝をこめて 「野菜」や「花」などをプレゼントいたします。

貯金感謝デー

●定期積金・積立定期
●ご契約期間：3年以上
●お預入れ金額：10,000円以上

記布条件

奇数月の18日に開催
休日の場合「翌営業日」

年金感謝デー

当組合にて年金を受給されているお客様

記布条件

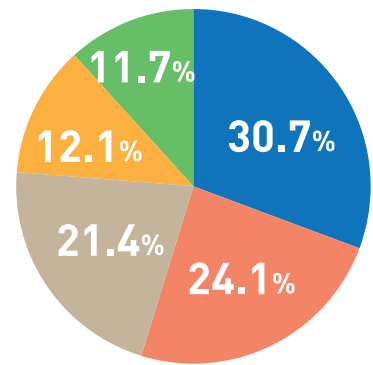
偶数月の15日に開催
休日の場合「前営業日」

貯金感謝デー・年金感謝デーの年間スケジュールはこちら▶



[主な回答結果をご報告いたします]

組合員になられた理由をご回答ください。

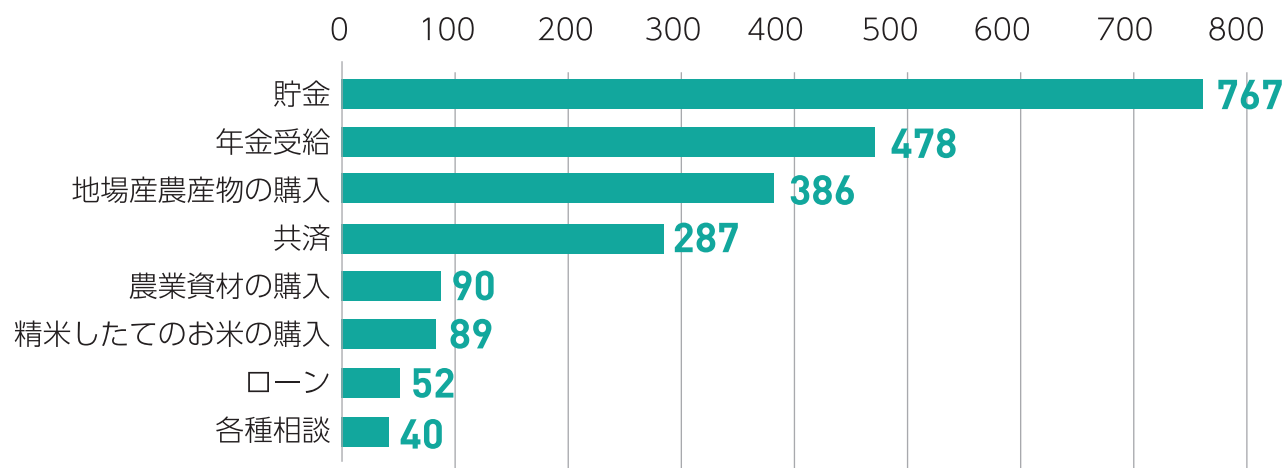


	今回	前回
■ キャンペーンおよび職員に勧められた	30.7%	22.5%
■ JA事業(貯金・ローン・共済)利用のため	24.1%	35.3%
■ 家族に勧められた	21.4%	28.5%
■ その他	12.1%	0.6%
■ 知り合いに勧められた	11.7%	12.8%

(※前回は令和4年度に実施)

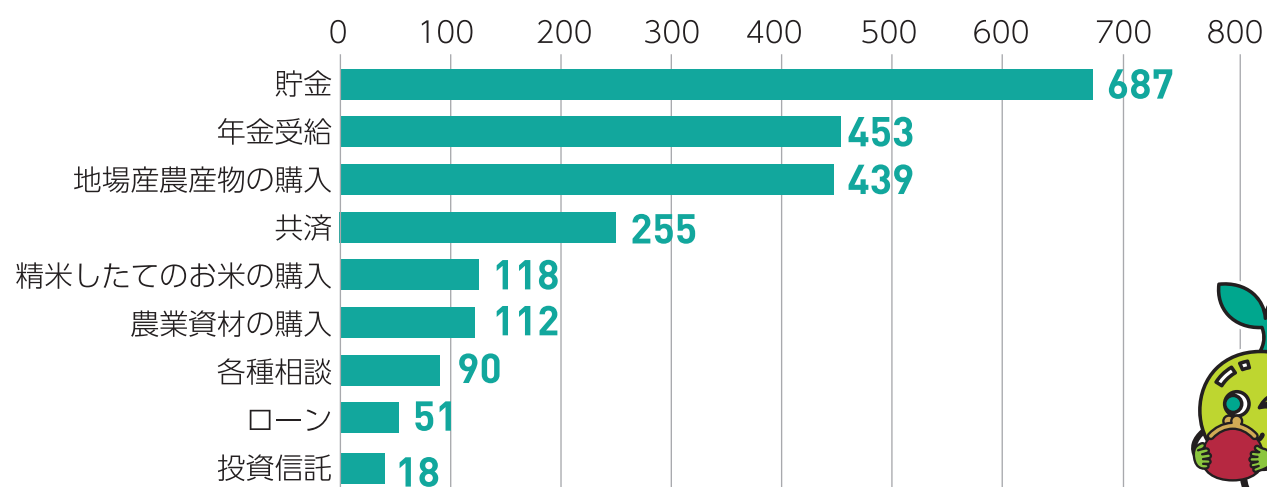
組合員加入キャンペーンを行った結果、8ポイント以上上昇

現在、当JAをどのような時にご利用していますか。(複数回答可)



昨年度より貯金感謝デー、年金感謝デー再開!!

今後、当JAをどのような時にご利用したいかご回答ください。(複数回答可)



すこやか定期貯金受付中！詳細はお気軽に渉外・窓口担当まで!!



令和5年度 JA 東京あおば 准組合員アンケート結果について



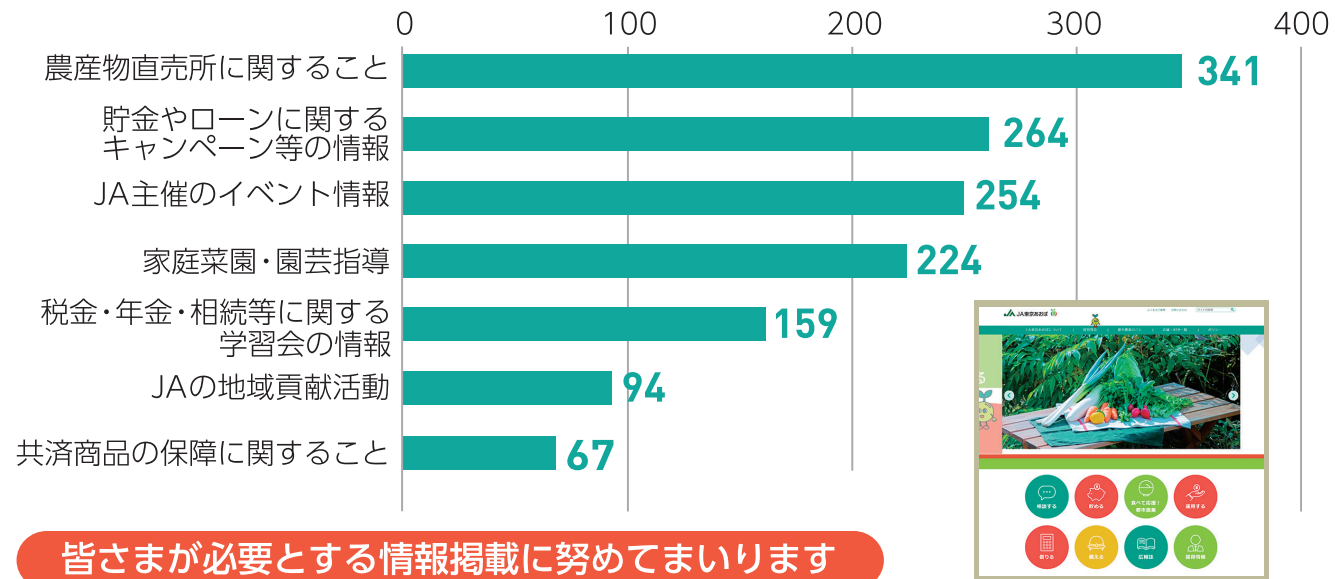
准組合員は、「正組合員とともに、農業や地域経済の発展を共に支える」協同組合の仲間です。

JA東京あおばでは、准組合員の皆さまを、農業や地域を支える重要な仲間と位置づけ、「農業や地域経済の発展をともに支える組合員」、地域農業においては「地域農業振興の応援団」としております。昨年度、准組合員の皆さまを対象に広報誌を活用し、渉外担当や窓口にてアンケートを実施いたしました。そのアンケート結果についてご報告いたします。

- 実施期間** 令和5年10月12日～12月29日
- 実施方法** 広報誌「あおば」106号(令和5年10月発行)誌面からのアンケートハガキ、専用WEBフォーム、渉外担当者、支店窓口でのアンケート配布
- 回答数** 920件 (Web回答：29件/アンケートハガキ、支店から用紙回収：891件)
- 質問内容**
 - Q1 性別
 - Q2 年齢(年代)
 - Q3 組合員になられた理由
 - Q4 現在、利用している事業
 - Q5 今後、利用したい事業
 - Q6 当JAに魅力を感じるどころ
 - Q7-1 広報誌「あおば」の認知度
 - Q7-2 Q7-1で「読んでいる」と答えた方の受取方法
 - Q8 当JAホームページの認知度
 - Q9 今後、広報誌「あおば」やホームページに掲載してほしい情報
 - Q10 今後、当JAに期待する事業・活動

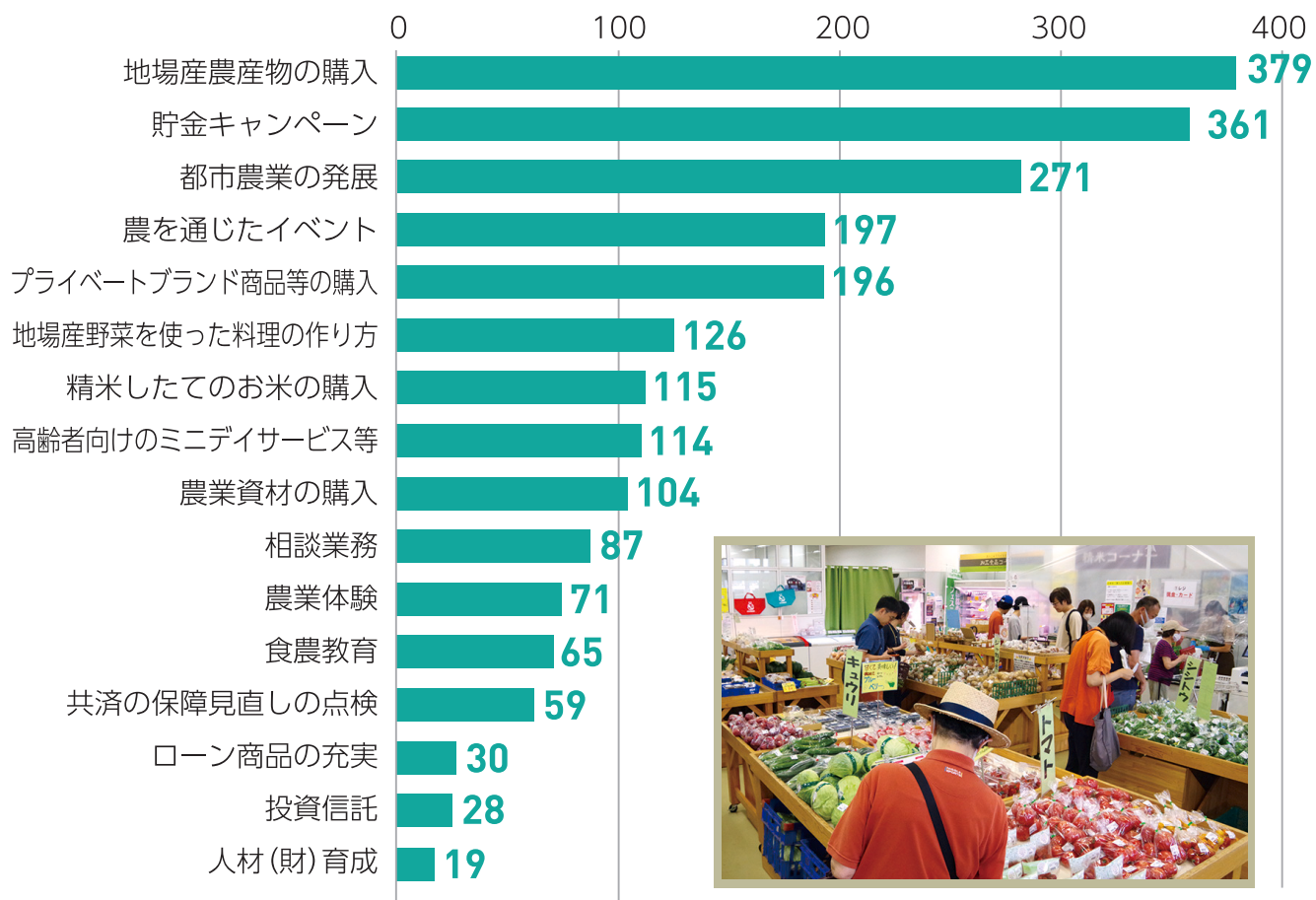


日々、当JAのホームページを更新しておりますが、今後、広報誌「あおば」やホームページにどのような情報を掲載してほしいですか。(複数回答可)



皆さまが必要とする情報掲載に努めてまいります

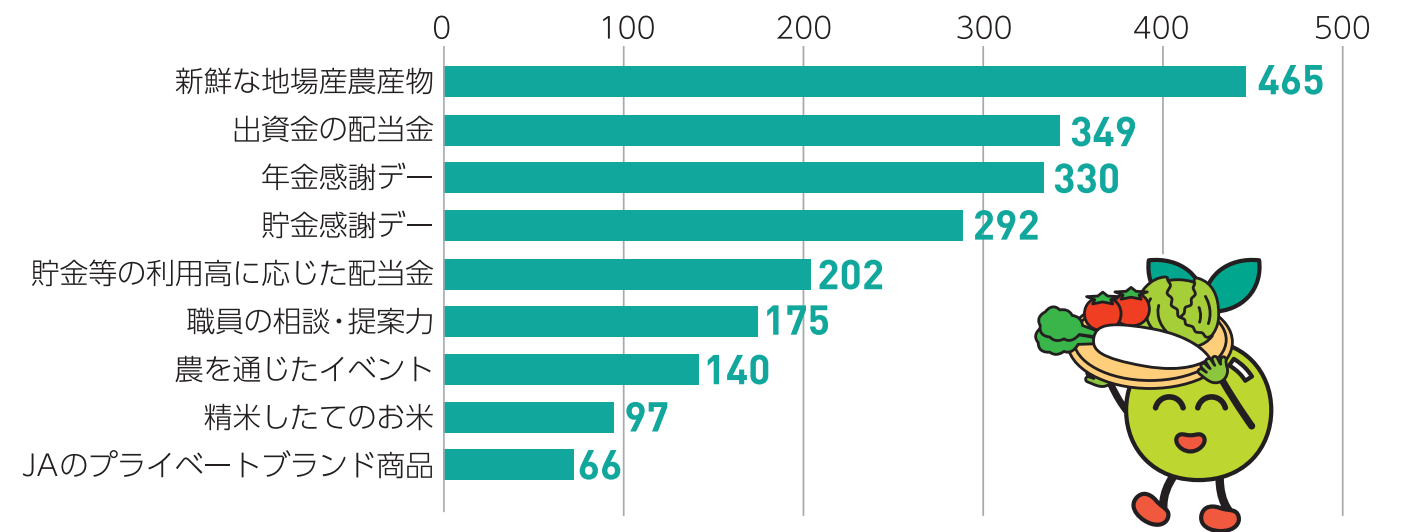
今後、当JAに期待する項目をご回答ください。(複数回答可)



アンケートにご協力いただいた准組合員の皆さまありがとうございました。ご回答内容、ご意見は、各種イベントや広報活動をはじめとした今後のJA運営に反映してまいります。

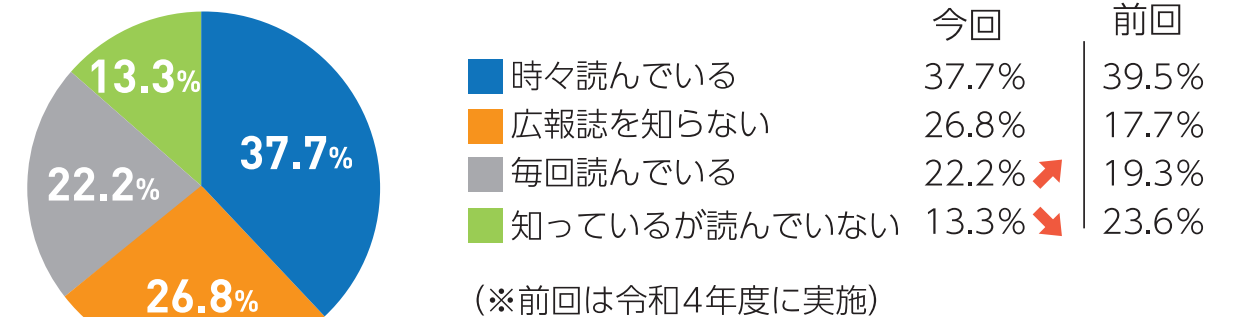


当JAに魅力を感じる場所をご回答ください。(複数回答可)



「何かあったらすぐJA」と組合員・地域の皆さまから頼りにされる専門性の高い職員の育成に取り組んでいます

当JA広報誌「あおば」をご存じですか。



広報誌による対話運動を展開しております

上記で「読んでいる」を選択した方は受取方法をご回答ください。



今後もより魅力的な誌面作成に努めてまいります



とお
お義父さんが植えた樹齢40年のブドウの木



ミカンの生育を確認する和人さん



地域に親しまれる人気の庭先直売所



自慢のシャインマスカット



1月中頃に ブドウの剪定をする様子

ブドウのさらなる
品質向上を追求し、
食べた方を
笑顔にしたい

農の現場

都市農業の未来を探る

109

練馬区谷原

すぎうら かずと
杉浦 和人さん

練馬区谷原の住宅街に突如として現れるブドウ棚。隣接する住宅とは塀1枚を隔てただけで、まさに「都市農地」という言葉がよく似合う。ここは「杉浦ぶどう園」。杉浦政雄さん(74)を中心に家族で経営する農園だ。藤稔やシャインマスカットなど10品種のブドウを生産しており、贈答用としても人気だ。自宅前には3〜4人が同時に入る有人の直売所があり、夏はブドウで、取材に訪れた初冬には、ダイコンやブロッコリー、カキやカンキツ類が店頭を彩っていた。ブドウ以外の生産物も全てここで売り切ってしまうというから、年間を通して地域に親しまれる農園であることが伝わってくる。

そんな杉浦ぶどう園には、新規就農した頼もしい戦力がある。就農3年目の杉浦和人さん(43)だ。前職はIT企業に勤め、夜遅くまで働き、子ども達と食卓を囲むことが少なかったという和人さんは、実は杉浦家のお婿さん。生家は呉服屋のため農業とは縁遠い人生を歩んできたという。ある日、お義父さんから「自分の年齢などを考えると、そろそろ後を継いでほしい」と話があり、「会社での代わりはない」という考えが深まり、就農の決意を固めたという。

取材中に印象に残ったのは、就農3年目とは思えない農業技術に関する知識量と、農業の話をする時の楽しそうな笑顔。農業と縁遠い人生を歩んできたのに「一体どうして…」「営農に関することとお義父さんをはじめ、家族や知人からも学んでいます。知人と知り合ったのはJAの研修やSNSがきっかけです」と話す和人さんは、就農後に開設したSNSアカウントを通じて、都内のブドウ農家とのつながりができ、技術や知識を身に付けているという。「お義父さんとは、技術を教えてもらうだけではなく、自分が学んできたことを基に、一緒に新しい作業方法を試したりしています」と話してくださいました。新しい知識や技術、人とのつながりを前向きにとらえる性格が、家族で気兼ねなく意見を交わし、新しい技術を柔軟に取り入れる杉浦家の環境に合い、和人さんの豊富な知識量と農業を楽しむ姿勢を実現しているのだと納得ができた。

昨年には地元の石神井地区青壮年部に加入し、農業祭の宝船製作や地域行事へも活躍の幅を広げている。「農業での目標はお義父さん。『ぶどう園』と言いつついろいろな農産物も販売しているが、ブドウはこれからも杉浦家の中心作物に変わりはしない。自分ももっと勉強し、品質向上を追求して、おいしいブドウを生産していきたい」と、これからの展望を明るく笑顔で語る和人さんの存在は、杉浦家だけではなく地域農業にとっても貴重な新戦力だ。



RECIPE

作りおき

ラディッシュのピクルス

材料 2人分

ラディッシュ …… 100g
(葉を除いて)

A 酢 …… 150ml
砂糖 …… 大さじ2
塩 …… 小さじ1
輪切り唐辛子 …… 1本分
ローリエ …… 1枚

作り方

- ① ラディッシュは縦半分に切ってから、端を残して5mm幅に切り目を入れ、瓶に入れる。
- ② 小鍋にAをいれて火にかけ、煮立つ直前で火を止め、ラディッシュに注ぐ。
- ③ 3時間以上置く。

これまでご紹介したレシピを
JA東京あおばのホームページ
に掲載しています。▶▶▶



プロフィール
豊島区(JA東京あおば管内)に生まれ育った料理研究家。料理研究家の祖母・故村上昭子氏、母・杵島直美氏という家庭に育ち、幼い頃から料理に親しむ。母のアシスタントを務めた後、独立。伝統の味を継承しながらも、若い男性の感性を生かしたレシピが大人気。NHK「きじまりゅうたの小腹すいてませんか?」あさいち「きょうの料理」など多数メディアに出演中。

RECIPE

メイン

ラディッシュとサーモンのオープンサンド

材料 2人分

食パン (6枚切り) …… 2枚
ラディッシュ …… 4個
スモークサーモン …… 50g

A 卵黄 …… 1個
マヨネーズ …… 大さじ2
酢 …… 小さじ1

作り方

- ① ラディッシュの葉を、塩を入れた熱湯でサッと茹でて水にとって水気を絞り、小口切りにする。
- ② Aを混ぜてソースを作る。
- ③ ラディッシュをスライサーなどで薄切りにして水に晒す。
- ④ 食パンをトースターで焼く。
- ⑤ トーストの上に具材を載せ、Aのソースをかける。

食卓が華やかになる
ラディッシュユ!

こんにちは!きじまりゅうたです。
ラディッシュは、ダイコンのなかでも最も小型で、ピリツとした辛味とほのかな甘さが特徴です。「二十日大根」とも呼ばれるように、収穫までの期間が20日程度と短く、全国各地で栽培されています。
今回は、ラディッシュを使ったカンタンレシピをご紹介いたしますので、ぜひお試しください!



KIJIMA RYUTAS
RECIPES

きじまりゅうた
あおばの台所



VOL. 24

ラディッシュ



4月～5月が種まき適期

直まきする

土寄せと追肥

エダマメには早生品、書かれています。早生種から中晩生までたは80日など。エダマメくさんの品種がありまの種色にも白や茶や黒す。早生と中早生品種など品種によりいろいろあります。早生、中の適期です。種の絵袋には早生とか中早生の早生品種はつるのほけには早生とか中早生のの心配もなく、カメムほか種まきから収穫まシの被害も少なく作りでの日数が目安として やすいと思います。

注1 早く成長するものを早生、遅いものを晩生、その中間の中生といえます。中早生ということもあります。注2 窒素肥料のやり過ぎなどでつるが伸びすぎてしまうこと。

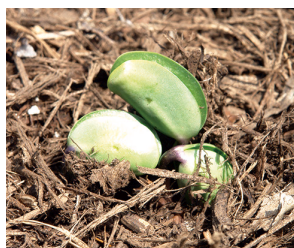


早生・中早生絵袋と種の例

エダマメのような豆類は、根に共生する根粒菌が空気中の窒素を固定して供給してくれるので、元肥は不要かごく少なめでもかまいません。堆肥は十分入れた方が良いでしょう。1か所に2～3粒、15cm間隔で種を落とし、足で土をかけてその上から踏みつけます。そうして覆土鎮圧しておけば種に土が密着して発芽しやすくなります。土が湿っていれば水はやりません。



種をまいたら覆土後踏みつける



発芽の様子

子葉が開いたら芯が伸び、丸い双葉の初生葉が出てきます。その頃株元を中耕し、胚軸が隠れるまで土寄せし、ついでにボカシ肥料などを振りまきます。胚軸からも発根して元気に育ちます。



本葉の前に初生葉が出る

本葉が出て生育し始める

その後は収穫を待つだけ

エダマメの花は品種により異なり、白やピンクの小さな花が咲きます。特に受粉の心配もなく結実し収穫に至ります。莢が大きくなり、豆が膨らんだら収穫します。エダマメはお湯を沸かしてから収穫しると言われるように、できるだけ新鮮なうちに食べるのが美味しく食べる秘訣です。



エダマメの花



収穫期の莢

フクダ流は芽出し植え

最近エダマメを直まきしません。どうするかというと、ポットで芽出しをします。12cmポットに種を20粒ほど入れて覆土し芽を出させます。一斉に発芽するので覆土を押し上げてきます



12cmポットに種をまく



1週間で発芽する



初生葉が開いたら植えどき

が、毎日水をやるので問題ありません。1週間～10日で芽が出て子葉が開き、初生葉が出てきます。初生葉が開いた時に1本ずつ畑に植えます。

あちこちに植えまくる

畑はエダマメ専用の場所でなくても、生育中の果菜類の株元や畝のマルチの斜面など空いているところにほとんどん植えていきます。もう初生葉が開いているのでキジバトに食われることもなく、1本ずつ植えるため直まきのよきに1か所に複数の種をまく必要もなく、種も無駄なくお得です。



1本ずつ植えていく

移植栽培は実つきが良い

直まきと比べると移植したほうがつちり育ち、莢のつき方がまとまっているように感じます。移植栽培であれば、早まきするとつるのほけする中、生品種も、早まきしてもつるのほけすることなく早く収穫できます。

丸い粒が根に共生する根粒菌、空気中の窒素を固定してエダマメに供給



とし 福田 俊



プロフィール

1972年 東京農工大学農学科卒。
2005年 協和種苗(株)退職。
2011～2022年 東京農業大学グリーンアカデミー講師。サラリーマン時代より貸し農園での野菜づくりを研究。
2012年～「日本農業新聞」で「フクダ流」を連載中。





祝

酒井 雅博 さん(大泉地区青壮年部) 令和6年度 全国農協青年組織協議会(JA全青協)会長に選任!!

令和6年2月12日に行われたJA全青協臨時総会において、酒井雅博さん(現JA全青協副会長・JA東京青壮年組織協議会顧問)が令和6年度の会長に選任されました。5月16日に行われるJA全青協通常総会終了後に会長へ就任する予定です。

JA全青協は、全国46都道府県青年組織を会員とし、会員は約5万人です。



会長立候補の決意表明を行う酒井さん

会長立候補時の決意表明

「日本農業が厳しい」と言われて何年経ったでしょうか。私もそのように言われる中で育ち、青年組織に入ってから聞けなかったことはありません。全国の青年組織は、自身の地域や営農に直接関係のないことでも皆で協力してきました。「都市農業振興基本法」制定時にも、多くの盟友が全力で協力をしてくださいました。私はその盟友たちに恩返しをしたい。私の畑のすぐ隣には農業を知らずに育ってきた多くの方が暮らしています。私は、そんな方々に全国の盟友に代わって農業の大切さ・大変さ・必要性を伝えることができます。そうしたことが私の出来る恩返しだと考えます。先人たちが私たちにしてきたように、次は私たちが次世代により良い農業を繋いでいくために、全国5万の盟友の力を結集し頑張っていきます。(一部表現を抜粋・修正しています)

広報誌「あおば」109号では酒井次期会長に関する特別企画も予定しています。お楽しみに!



春季植木市

日程 4月19日(金)~21日(日)
5月10日(金)~12日(日)

開催場所 高島平緑地噴水公園 時間 9時~17時

せつきフェスティバル

開催場所 板橋区役所本庁舎1階 日程 5月13日(月)~17日(金)

告知

4月中旬頃から直売所にて夏野菜苗の販売も予定しています!!

詳細は決まり次第、当JAホームページでお知らせします。▶▶▶▶▶



身近に見！新鮮！庭先お買い物MAP

本企画は庭先直売所を紹介するコーナー。ぜひ身近に感じてお出かけください!



1 尾崎農園 (尾崎 賢一さん)

住所 石神井台4-21-9
時間(目安) 10:30~[月曜休]
販売品目 カリフラワー、キュウリ、キャベツ、コマツナ、ダイコン、トマト、ナス、ニンジン、ブロッコリー、ホウレンソウ、芽キャベツなど



今回は、富士街道と新青梅街道に挟まれている「石神井台・関町北」の地域をピックアップダネ! 石神井の名前の由来は、その昔、この地で丹戸を掘った際に出てきた石の剣(または石の棒)を、村人たちが神様(石神様)として祀ったことに由来すると言われているんだネ! この地図をたよりに、石神井の新鮮な農産物を召し上がれダネ!



2 櫻井農園 (櫻井 国雄さん)

住所 石神井台4-6-23
時間(目安) 10:00~17:00
販売品目 エダマメ、キャベツ、コマツナ、サトイモ、ジャガイモ、タマネギ、ネギ、ブロッコリー、ホウレンソウなど



4 櫻井農園 (櫻井 輝久さん)

住所 関町北5-14-4
時間(目安) 10:00~無くなり次第終了
販売品目 トマト、ナス、ニンジン、ピーマン、ブロッコリー、ミカン、カキなど



3 さくら菜果園 (櫻井 祐次さん)

住所 関町北5-2-26
時間(目安) 11:00~20:00[木・日曜休]
販売品目 エダマメ、サトイモ、トマト、ネギ、ニンニク、ホウレンソウ、レタス、ブドウ、ブルーベリー、ミカンなど



5 櫻井農園 (櫻井 曜子さん)

住所 関町北5-12-12
時間(目安) 10:00~無くなり次第終了
販売品目 キャベツ、コマツナ、サトイモ、ジャガイモ、ダイコン、トマト、ニンジン、ホウレンソウ、フキ、タケノコ、落花生など



読んで、アンケートに答えて すてきなプレゼントをもらおう!!

皆さまのご意見・ご要望をお聞かせください。
※クロスワードの解答は任意です。



プレゼント応募締め切り5月31日(金)必着

読者プレゼント

- 1 各支店の窓口ポストに応募用紙投函(無料)
- 2 63円切手を貼って郵送
- 3 専用webフォームからも応募できます▶▶

応募要項

氏名・ふりがな・年齢・住所・電話番号・取引支店名・JAと本誌へのご意見やご感想、地域の話、楽しいお話、俳句など、自由にお書き添えのうえご応募ください。なお、ペンネーム、匿名を可としますが、本名の明記を必ずお願いします。抽選で5名様にプレゼントいたします。

個人情報等の取り扱いについて 応募いただきました応募用紙等の個人情報・記載内容は、当JA広報活動の目的以外では使用いたしません。



プレゼント

季節の野菜、お肉、お魚など
パックを開けてすぐに漬けられる

熟成めか床



5名様 塩こうじパウダー (だし入り)



follow me

直売所の最新情報は
Instagramでも発信中!!

とれたて村石神井
(toretatemurasyakujii_aoba)



ふれあいの里
(fureainosato_aoba)



練馬地区
アグリセンター
(nerima_agri_aoba)



ファーマーズショップ
にりん草
(nirinsou_aoba)



JA東京あおば
(jatokyoaoba)



板橋地区
アグリセンター
(itabashi_agri_aoba)



ファーマーズショップ
こぐれ村
(koguremura_aoba)



編集後記

4月ほど『新しい』という言葉がぴったりの月はないかもしれませんが、寒さが和らぎ気持ちも明るくなることで、何か『新しい』ことを始める方も多いのではないのでしょうか?

もっと楽しい毎日を送るための自分磨きもしてみたい! という方も多いのでは? 新鮮な気持ちになれる春だからこそ、『新しい挑戦』を始めてみませんか?

広報紙「あおば」も新たな挑戦を日々行い、皆さまに喜んでいただける広報誌をめざしてまいりますので、毎号を楽しみにお待ちください。(広報委員 高柴)

前号の答え シ ク ラ メ ン



たくさんのご応募
ありがとうございました。

当選者はプレゼントの発送をもって発表にかえさせていただきます。

読者のひろば

練馬春日町支店の窓口の方に
お世話になりありがとうございます。
感謝しています。

from H.Tさん

練馬春日町支店

貯金感謝デー・年金感謝デーの、
新鮮な野菜・お花のプレゼント
ありがとうございます。毎月の
楽しみのひとつです。

from テコさん

中村橋支店

from Y.Aさん
生きることは
一筋がよし
寒椿

平和台支店

広報誌「あおば」と干
支の辰の貯金箱をはじめ
めて届けていただきました。
ありがとうございました。

from H.Sさん

桜台支店

広報誌「あおば」でしか知り
得ない農業従事者の方々の
情報もあるので、広報活動を
さらにがんばってください。

from M.Mさん

赤塚支店

from Y.Kさん
川沿いの
ベンチでおにぎり
春隣

石神井支店

from F.Nさん
風邪ひいて
家族のやさしさ
身にしみる

板橋支店

高齢化が進んでいるので、良い「終活」
などをとりあげて欲しい。

from キノちゃん

関町支店

広報誌「あおば」を楽
しみにしています。
「あおばの台所」で紹
介されたお料理を我
が家でも毎回作って
います。

from K.Sさん

練馬春日町支店

クロスワードが楽しみ。
いつも楽しく解いています。

from M.Mさん

大泉支店

東大泉支店の統廃合はとて
も寂しいですが、職員の皆
さまは、それぞれの新たな
場所で頑張ってください。
今まで、笑顔をありがとう
ございました。

from N.Tさん

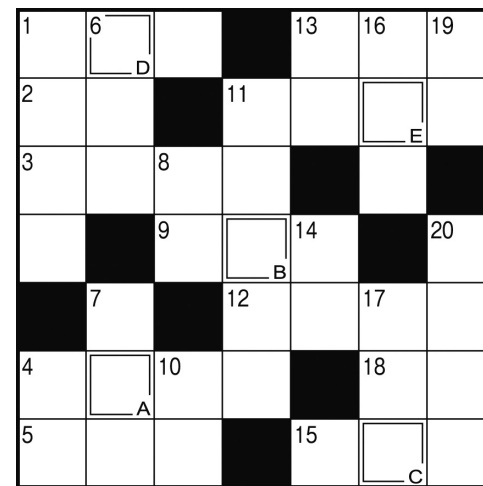
東大泉支店

クロスワードに 挑戦!

答えは次号で
お知らせだね!



二重マスの文字をA~Eの順に
並べてできる言葉は何でしょうか?



ヨコのカギ

- 1 陰暦の5月のこと
- 2 棋聖、天元、本因坊といえ
- 3 ワインやウイスキーはこれ
- 4 話題となるような出来事
- 5 ギョーザのたれに入れる辛
い調味料
- 9 指揮者が振るもの
- 11 家臣が仕えます
- 12 村下孝蔵のヒット曲。歌い
出しの言葉は五月雨(さみ
だれ)です
- 13 目には——山ホトトギス初
ガツオ(山口素堂)
- 15 遠くの親類より近くの——
- 18 1と-1の中間点

タテのカギ

出題●ニコリ

- 1 アルバイトの——試験を受けた
- 4 黄色に黒いしま模様がある猛獣
- 6 ご——の良い日にお越しく
- 7 ケシ科の花、特にヒナゲシのこと
- 8 味を感じ取ります
- 10 沖縄では5月中に——入りす
ることが多いですね
- 11 ゴールデンウィークのホテルは、
——客で混雑しそう
- 13 魚偏に占と書く魚
- 14 凸という字の音読みは
- 16 早く実る稲は早稲(わせ)、遅いも
のは
- 17 ポケットの中でチャリチャリと
鳴ることも
- 19 相撲の取組を数えるときに使う
言葉
- 20 衣服のしわをのばします

石神井



青壮年部 活動紹介

石神井地区青壮年部の
活動をご紹介します！！



こんにちは！石神井地区青壮年部です。現在35人の盟友が活動しています。石神井地区青壮年部では、「感謝デー」に関町支店でマルシェの開催(不定期)、その他各種イベント等へのマルシェ出店、JA東京あおば農業祭で地場産ポップコーンの販売、石神井管内・管外への視察研修などを行っています。最近ではバイオスティミュラント資材*等を新しく試用したり、都の普及指導員を招いて講習会を開くなど、農作物の品質や、営農技術の向上に力を入れています。



ひとりで作業をすることも多い農業。苦労を分かち合い、情報交換ができ、ともに成長できる環境が青壮年部にはあります。部員同士の仲も良く、信頼しあえる仲間たちがお待ちしています！都市農業や青壮年部活動に興味を持っていただけた方は、ぜひ事務局までお声がけください。

*バイオスティミュラント資材：植物あるいは土壌に処理し、より良い生理状態を植物体にもたらす様々な物質や微生物、あるいはそれらの混在する資材。

問い合わせ先

JA東京あおば青壮年組織協議会事務局(地域振興部農業振興課)
電話 :03-5910-3066 (平日 9時～17時)



女性部活動紹介

板橋地区

皆さんこんにちは！元気いっぱいの板橋地区女性部です。部員は総勢100人弱。JA東京あおばの中で一番部員数が多い地区です。「SDGs活動」やイベントで人気の「田舎まんじゅう作り」、私生活にも役立つ「防災講習会」、親睦も深まる「視察研修旅行」など様々な活動に取り組んでいます。今回はその中から「SDGs活動」と「田舎まんじゅう作り」をご紹介します。

まず、SDGs活動。毎年5月に赤塚支店を会場に、ペットボトルキャップ20個以上*を持ってきた方へゴーヤー苗をプレゼント。育てたゴーヤーでグリーンカーテンを作ってもらいCO2削減活動でもあり、キャップは約860個で、ポリオワクチン1人分にもなるんです！昨年は20kgも集まりました！

次に、板橋農業まつりや、子ども食堂への寄付等のときに作る田舎まんじゅう。生地作りから焼印をつけてパック詰めまで、たくさんの工程を多くの部員が手分けをして行います。皆さん楽しく田舎まんじゅう作りを行っています♪

さあ、女性部の活動に興味を持ったあなた！ぜひ板橋地区女性部に加入してみませんか？

*令和6年より30個以上に変更予定

問い合わせ先

JA東京あおば女性組織協議会事務局(地域振興部農業振興課)
電話 :03-5910-3066 (平日 9時～17時)

学ぼう。遊ぼう。 楽しもう。

新メンバー大募集!!

JA東京あおば女性部

